

妊婦の風疹罹患状況調査成績他

川 上 勝 朗 (大阪医大小児科)

竹 内 宏 一 (" ")

1. 妊婦の風疹感染状況

昭和51年の風疹大流行において高槻市周辺の妊婦について調査を行った。

1) 非妊婦成人女性につき昭和51年1月より8月末日までに計1,361例の採血を行い、その年齢群別の風疹HI抗体価を調査した。HI抗体8倍以下陰性者(未感染)は18~19才5.15%, 20~24才38.2%, 25~29才24.3%, 30才以上11.6%である。

2) 妊婦につき昭和51年1月~12月554例, 昭和52年1月~7月40例, 計594例につき風疹抗体価を測定し, HI8倍以下陰性率は20~24才39.5%, 25~29才26.8%, 30才以上12.6%で, 非妊婦女性とよく一致した。

妊婦感染35例を含む594例の妊婦の年齢群別のHI価の分布, 抗体価の変動を図に示す。感染例では当然のことながらHI価高値例が多い。また未感染妊婦は30才以上のものも, 20~24才の妊婦と同様に高率に感染し, それは, その年齢群の有する抗体保有率とは関係がない。高槻地方では妊婦感染例は昭和51年2月~7月に集積して認められた。

3) 妊婦感染35例の転帰を調査し, 人工中絶は妊娠1~5カ月までの感染の17例, 分娩せるものは, 妊娠3~10カ月の感染の17例, 自然流産1例である。感染源としては家庭内小児の風疹10例につき夫の風疹6例, 職場感染6例であった。

4) 妊婦感染で分娩した17例の乳児の追跡調査では, 妊婦3カ月の母体風疹で出生した1例に難聴を認めているが, それ以外の小児には現在まで先天風疹症状をみとめていない。生後8~12カ月後のHI価は, 妊娠6カ月以降に感染せる母体風疹6例中4例は, その小児に風疹抗体保有をみとめず, 胎児感染はなかったと云える。また分娩時に発症した母体風疹例では, その児は生後

10カ月で高いHI価(256倍)を保有し, 産道感染をうけたと推定された。

5) 高槻市の人工中絶届出を調査したところ, 風疹の大流行せる昭和51年は昭和49, 50年に比し約350の中絶増加であった。また全国の人工流産(妊娠4カ月~7カ月の中絶)届出を月別にみると昭和51年は6月に明らかなピークがあり, 風疹による母体感染または, それを恐れての中絶増加が明らかである。

2. 風疹流行後の住民の風疹抗体調査

1) 昭和51年11月より52年1月21日までに727名の住民血清につき風疹抗体保有状況をしらべた。生後2~14才の抗体保有率は流行前の昭和50年3月より高まっているが, 約20~45%にとどまり, 次の流行で感染する可能性をのこしている。

2) 中学3年女生徒のワクチン接種前の風疹抗体保有状況

昭和52年10月~11月に高槻市の全中学校14校と島本町の2校の3年女生徒の抗体調査を行い, 高槻市2,031名中1,067名52.5%。島本町126名中57名45.2%は抗体陰性, 未感染であった。陰性者に対してワクチン定期接種が実施された。

3) 中学3年女生徒の風疹罹患アンケート調査
上記抗体検査と同時に罹患調査を行い, 抗体調査成績と比較検討した。風疹非流行時における風疹の臨床診断の適中率は約50%にすぎず, 信頼しがたい。中学3年女生徒に風疹ワクチン接種を行うとき, 罹患調査からのみワクチン不要者をえらぶことは不可と云える。

3. 成人女性に対する風疹ワクチン接種成績

成人女性の前抗体陰性の風疹ワクチン接種希望者にタケダTO-336ワクチン, ビケン101, ビ

ケン7413ワクチンを、それぞれ123例、24例、67例に接種し、HI抗体反応、臨床反応を調査し、いづれも良好な成績を得た。

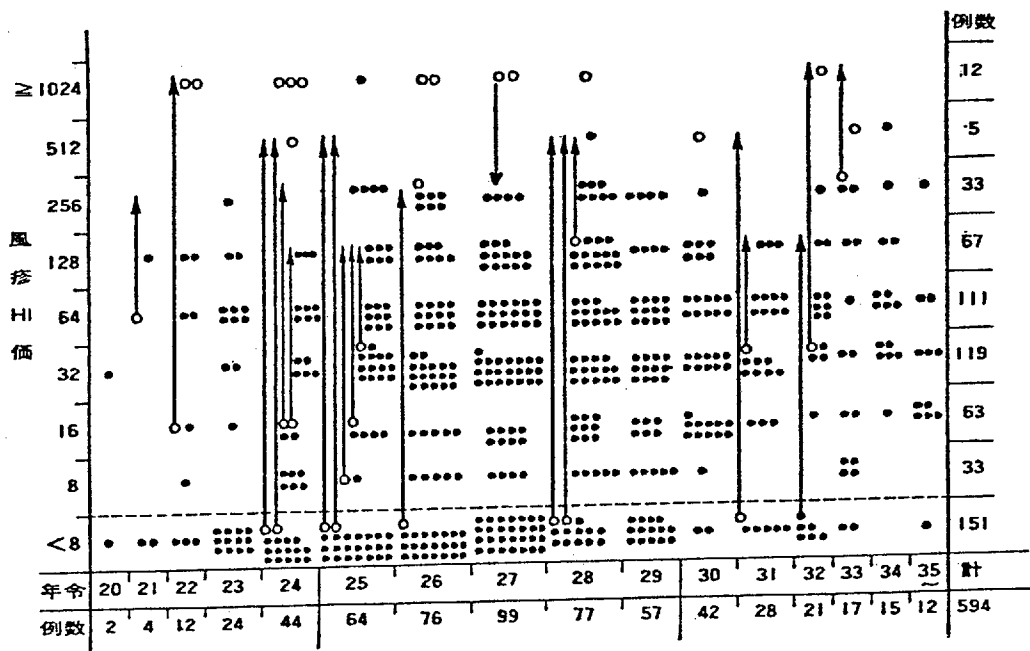
抗体陽転率、平均HI抗体価(2^n)はタケダTO-336で100%、 $2^{5.67}$ 。ビケン101ワクチン100%、 $2^{5.0}$ 。ビケン7413ワクチン98.5

%、 $2^{4.94}$ であり、タケダワクチンの抗体価が、やゝ高い。臨床反応は小児と異り、成人では関節症状、リンパ腫、発疹が若干みとめられ、その頻度はタケダワクチンに多い。しかし、日常生活に支障を来たすほどのものではなかった。

- 顕性感染例
- 無症状例

↑ ↓ ペアー採血で上昇または下降を示す

図 1



妊婦594名の年齢別風疹HI抗体保有状況

↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

1. 妊婦の風疹感染状況

昭和 51 年の風疹大流行において高槻市周辺の妊婦について調査を行った。

1) 非妊婦成人女性につき昭和 51 年 1 月より 8 月末日までに計 1,361 例の採血を行い、その年齢群別の風疹 HI 抗体価を調査した。HI 抗体 8 倍以下陰性者(未感染)は 18 ~ 19 才, 51.5%, 20 ~ 24 才 38.2%, 25 ~ 29 才 24.3%, 30 才以上 11.6%である。